

# 木山こうじ



子どもに  
ツケを  
まわさない!

**活動報告** vol.15 2022年10月~12月

茅ヶ崎に新しい風を! 茅ヶ崎の皆様こんにちは、木山こうじです。  
茅ヶ崎の皆様にご覧いただきありがとうございます。

令和4年11月29日~12月21日(会期23日間)に、令和4年第4回定例会が開催されました。本定例会において、原油価格の高騰による電気料金の上昇等に伴う補正や、人事院による国家公務員の給与に関する勧告に伴う職員給与費の補正などの一般会計補正予算や、条例改正、指定管理者の指定等さまざまな議案が上程されましたが、各諸議案について慎重な審議のもと、全ての議案に対し可決承認致しました。本定例会で承認された議案をいくつかご紹介したいと思います。

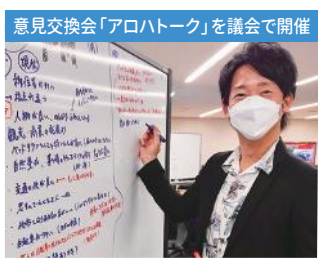
**PICK UP!** ■ 妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し、出産育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用等に係る負担軽減のため、「**いとしのベビー出産・子育て応援金**」を支給することに伴う経費(198,932千円)

■ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、小中学校における健康診断の実施や児童の健康管理に必要な感染防止用品等購入経費(7,840千円)

■ 生活保護費受給者の利便性の向上を図るため、令和5年度中のマイナンバーカードを利用したオンライン資格確認の導入に向けたシステム改修関連経費(3,676千円)

■ サザンビーチちがさき海水浴場において、誰もが自由に楽しめる海水浴場を目指すバリアフリービーチを実施するため、車いす等でも砂浜での移動が可能となるバリアフリーマットの購入経費(2,706千円)

■ マイナンバーカードの更なる普及を図るため、商業施設等において申請支援を行うほか、問い合わせに対応するコールセンター開設に伴う経費(34,525千円)



意見交換会「アロハトーク」を議会で開催

YouTubeによる議会報告

令和3年度 歳出決算額	
一般会計	歳出 約834億円
特別会計	
国民健康保険事業	歳出 約222億円
後期高齢者医療事業	歳出 約38億円
介護保険事業	歳出 約170億円
公営団地先行取得事業	歳出 約0.8億円
基金会計	
公共下水道事業会計	約83億円
病院事業会計	約140億円
合計	約1488億円

令和4年9月に決算審査を行いました。



地域の皆さんと防災訓練を企画

**新しい風!** 国が示す「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(以下、基本的対処方針)」が変更されたことに伴い、11月29日に文部科学省から通知が発出され、同通知では**学校給食の際、適切な対策を講じれば会話をすることが可能である**とされているほか、改めてマスクの着用の考え方が示されました。このことに伴い、全国各地の地方公共団体において、新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン等の見直しが行われていますが、本市においても相応の対応が必要であると考えられるため、会派「絆・新しい風」として、黙食、マスクの着脱に関する要望書を教育委員会に提出いたしました。



教育委員会に黙食・マスクに関する要望書を提出



児童虐待防止オレンジリボンたすきリレーに参加



都市経済常任委員会副委員長として政策提言

- プロフィール**
- ▶ 都市経済常任委員会副委員長
  - ▶ 茅ヶ崎市都市計画審議会委員
  - ▶ 元北京オリンピックテコンドー日本代表強化指定選手
  - ▶ 茅ヶ崎アマチュアボクシング協会 会長
  - ▶ NPO法人 子どものための国際音楽交流協会(AIMEC) 会員
  - ▶ 関東学院大学「燦葉会」湘南支部 副支部





## 【一般質問(※)】をしました！

※議員が、その属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関(市長等)に対し事務の執行状況および将来に対する方針等について、所信を質し、あるいは報告や説明を求め、または疑問を質すこと。

### 1 スポーツ施策について

- (1) スポーツを通じた次世代の育成について
- (2) スポーツツーリズムの推進について

### 2 2022年茅ヶ崎市長選挙

- (1) 過去最低となった投票率の分析と今後の対策について
- (2) 主権者教育について

### 3 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 市内行事での感染症対策の基準と社会の制限緩和との差異について
- (2) 諸事情によりマスクの着用等の感染症対策ができない方への配慮について

↑ **こちらの質問についてご報告いたします** ↑



← 映像配信  
コチラから

#### QUESTION

#### 質問

市内小中学校で給食等食事を摂る際、どのような見解でこれまで児童生徒の指導に当たってきたのか。またマスクの着脱を起因とした**差別や偏見に対してどのような取り組み**をしてきたのか。

#### ANSWER

#### 答弁(教育長)

いわゆる「黙食」については、本市のガイドラインで「班の形にならず、前を向いて食べる」と示していることから、各学校で感染症対策を踏まえた形での食事の摂り方を行っている。差別や偏見については校長会等で具体的な事例を挙げながら周知を図り、**それぞれの立場の子どもたちが嫌な思いをすることがないように指導**している。

#### QUESTION

#### 質問

11月29日に文部科学省から「**黙食は従前から必ずしも求めていない**」「会話も可能」といった旨の通知が出された。全国的に緩和の流れが出てきているが、本市の対応はいかがか。また差別や偏見について、他市では児童生徒、保護者向けに丁寧な周知がされているが本市もやるべきではないか。

#### ANSWER

#### 答弁(教育総務部長)

家族や親しい方との食事とは異なり、多くの人数で同時に食事を摂る給食については、コロナ禍の中で培ってきたそれぞれの子どもたちや家庭の考え方があることから、会話を可とするには一定の時間と丁寧な対応が必要である。差別や偏見に関する周知については、市のHPや学校だより等を通じて広く周知を図ってきた。

#### QUESTION

#### 質問

衛生管理マニュアルは「大声の会話を控える」という表現であり、**会話自体を制限するものではない**。感染症の蔓延と給食時の会話との因果関係はあるのか、明確な根拠を問う。また差別や偏見が起きないように理解を求めるだけでなく、教育委員会の意思を児童生徒、保護者に示す必要があるのではないか。

#### ANSWER

#### 答弁(教育総務部長)

「感染予防策なしで陽性者と15分以上の接触があったもの」という濃厚接触者の定義があることから、感染防止と学びを止めないことの両立を目指し、マスクを外す機会である食事の場面では、会話を控える対策を講じてきた。また**感染に起因する差別や偏見は許されないもの**であるため、適切なマスクの着脱や互いを思いやる気持ち等の大切さについて、あらゆる教育機会を通じて指導を行ってきた。

#### QUESTION

#### 質問

明確な根拠、合理的でない対策を子どもたちに強いることはあってはならない。全国的に黙食緩和の流れがあるが、**他市にできて本市にできない理由はどこにあるのか**。

#### ANSWER

#### 答弁(教育総務部長)

「マスクを外させて欲しい」という声とともに「引き続き、黙食を続けてほしい」という声もあり、子どもたち一人一人が安心して過ごせるよう、**どちらの立場や考えも尊重しなければならない**と考えている。また他自治体の対応もさまざまであることから、最新の知見に基づいた国の方針を参考にしながら丁寧な対応を心掛けていく。

インスタグラム・FB・ツイッターで日々の活動を発信しています。

お気軽にフォロー  
お願いします！



木山こうじと茅ヶ崎の未来を作る会

☎ 080-3004-5023

〒253-0006 茅ヶ崎市堤77-1 マリヴァノン1-203

木山こうじ

検索

